

Toyo-Keizai-Nippou

東洋経済日報

本紙4500号
記念特集 5~9面

韓日新時代を読む、知る、考える

2004年3月12日（金曜日）

1959年7月20日 日本政府第3種郵便物認可・毎週金曜日発行
1971年4月14日 大韓民国政府第3種郵便物認可

東洋経済日報社の創刊58周年と紙齢4500号の発刊を心からお祝い申し上げます。

東洋経済日報は1946年の創刊以来、日本国内で韓国経済の変化と発展をいち早く正確に伝え、唯一の経済専門紙として頑張ってきたつもりです。また、東洋経済日報は58年間、70万在日同胞の自負心として、垣根の役割を果たしてきたと思っています。

現在、世界はグローバル化とともにEU、NAFTAなど地域経済の統合と拡大を通じて経済のロック化が加速化しています。しかし、韓中日3国は相互補完的な経済条件を備えているにもかか



議 ヨルリンウリ党 長 鄭 東泳

70万同胞の自負心

わらず、過去の歴史が影響し、地域的な共同体の形成が円滑に進んでいないのが現実です。

私は去る2月26日、日本を訪ね、韓中日の三角自由貿易地帯の創設、韓日投資協力協議会の創設、韓日海底トンネルの実現、韓日間ビザ免除の推進など、東北アジア経済協力に関する構想

を提示しました。

私が日本で、韓日の主な懸案である6者協議、独島問題などを取り上げず、経済問題を集中的に取り上げたのは、懸案事項のために韓日間の経済協力をこれ以上遅延させてはいけないという問題意識を持っているためです。

過去の韓日関係が対立と葛藤の歴史だったとしたら、これからは「共生」の関係にしなければなりません。その第一歩は経済協力の基盤づくり

だと思っています。

新しい東北アジアの秩序を形成するために、東洋経済日報の役割がさらに大きくなることでしょう。韓日間の理解の幅を広げ、友好を増進させるため、東洋経済日報が今後も大きな役割を果たしていけることを期待しております。

改めて、東洋経済日報の創刊58周年と紙齢4500号の発刊を心からお祝い申し上げます。貴社の無窮の発展を期待致します。